

「保険の見直しのタイミング」

長期化する低金利の中で、生命保険料については平成25年4月から各保険会社共に10%前後の値上げを検討しているとのこと。政権交代により新政府側も規制緩和により平成26年4月からの値下げへ誘導するとの観測もあり、加入者側としても新規で保険加入する場合はこの点を踏まえた対応が必要です。消費税増税も平成26年4月から8%、平成27年10月からは10%となる公算が高く、給与のアップが見込めない状況では個人の可処分所得が圧迫される見込みですので、家計に締める保険料負担が大きき日本では尚更慎重な対応が求められます。

そこで今考えられる対応ですが、

① H25. 4月～H26. 3月の対応

出来るだけ新規の保険契約は避けたい。特に長期的な積立保険（終身・年金・養老）の加入はさけ、どうしても加入する場合は定期・医療等の掛捨て保険を活用する。

① 既存の保険契約について

これから新規の保険料がアップダウンする見込みの中、既存契約については今まで通りの保険料等が維持される見込みですので、慌てて解約する必要はありません。ただ、保険の見直しを検討されているのであれば、既存契約全体を見て検討する必要があります。

いずれにしてもタイミングが重要な時期となりますので、専門家にご相談の上対応ください。相続税についても基礎控除の引下げによる増税が引き続き検討されておりますので、今の内からの贈与を活用した相続対策も有効です。お手伝いについては弊社でも行えますので、お気軽にご相談ください。